

今週の株式相場見通し

* 日経平均 20,870~22,000円 TOPIX 1,690~1,780

* 期待材料 堅調な企業業績 諸外国に比べ安定した政治情勢

* 不安材料 米国の金利情勢 トランプリスクの顕在化 北朝鮮情勢 中東情勢

2月7日時点で、日経平均に採用される225社のうち、12月期決算の18社、3月期決算の50社が決算発表を終えていないが、ここまで発表された企業の決算は、全体としてはやや伸び悩みといえる。7日の大引け時点の時価総額を基に日経平均株価の予想PERを試算すると13.4倍程度となり、予想EPSは1,620円程度となる。決算発表が本格化する前の1月19日時点のEPS1,522円との比較では、約100円の大幅上昇となっている。ただし、今年度の業績予想については特別利益の計上が大きな影響を与えている事には注意が必要だ。特に、昨年末に決まった米国の税制改正に伴う影響から、多額の繰延税金負債の取り崩し益を計上している企業が多い。例えば、トヨタとホンダの2社だけでも3Qにおいて約6,400億円の繰延税金負債の取り崩し益を計上している。7日時点の日経平均採用銘柄の業績予想集計値を1月19日時点と比較すると、純利益が7.6%(1兆9,760億円)増額されているのに対して、経常利益は1.7%(6,701億円)の増額に留まっている。経常利益の増額修正率である1.7%を決算発表前のEPSに乗じた1,550円程度が、7日時点における実力値であると想定している。アベノミクス始動以降、日経平均の予想PERは業績予想が拡大する局面では概ね下限が14.0倍、上限が16.5倍に対し、業績予想の悪化局面では概ね下限が13.0倍、上限が15.5倍程度となっている。予想EPS1,550円を前提とすれば、14倍評価は21,700円、13倍評価は20,150円となる。国内外の株式市場は、米国の金利上昇に伴いボラティリティの非常に高い展開となっており、今後も想定以上に急落する局面もあり得る。全体の業績はやや伸び悩んでいるものの、高い競争力を背景に足元でも力強い業績拡大が継続している企業もある。株価調整局面は好実態企業の押し目に注目していきたい。(2月8日現在、多功 毅)

今週の予定

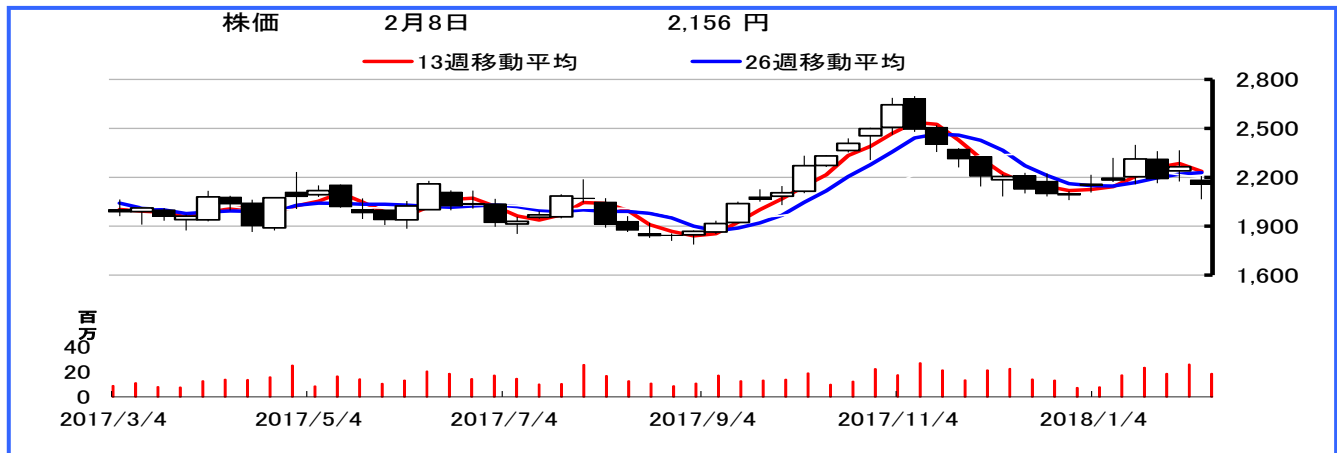
	国内	海外
2/13 (火)	NISAの日 MSCI 2月の定期見直し銘柄発表 1月工作機械受注(15:00)	[英]1月消費者物価指数(18:30) [米]全米農業エキスポ(~15日) [米]メットライフ 延期していた決算を発表
14(水)	10-12月期GDP速報値(8:50) 東芝(6502)3Q決算(13:00) 郵政3社3Q決算(15:00) 国際ナノテクノロジー総合展(~16日) 最先端3Dプリンティング技術展(~16日)	[独]10-12月期実質GDP速報値(16:00) [スウェーデン]政策金利(17:30) [欧]10-12月期実質GDP改定値(19:00) [米]1月消費者物価指数(22:30) [米]1月小売売上高(22:30)
15(木)	12月機械受注(8:50) アサヒGPHD(2502)本決算(15:00)	[中]春節(~21日) [米]1月鉱工業生産(23:15)
16(金)	確定申告(~3月15日) ユニ・チャーム(8113)本決算(11:30) ブリヂストン(5108)本決算(15:00)	[朝]光明星節 故金正日総書記の生誕記念日 [独]ミュンヘン安全保障会議(~18日) [米]1月住宅着工件数(22:30)
17(土)	Nintendo Labo 体験会 東京開催(~18日)	[米]Toy Fair NY 18(~20日)
18(日)	山形空港ウィンターフェスティバル2018	[UAE]ガルフード2018(~22日)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

アドバンテスト (6857) 東証1部



	16年3月期		17年3月期		18年3月期(予)		株価(2/8)	2,156 円
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	業種	電気機器
売上高	162,111	-1.0%	155,916	-3.8%	195,000	25.1%	売買単位	100 株
営業利益	12,597	-25.3%	13,905	10.4%	20,000	43.8%	PER(予想)	25.5 倍
税前列益	11,767	-43.3%	15,022	27.7%	19,000	26.5%	PBR(実績)	3.3 倍
当期純利益	6,694	-60.0%	14,201	112.1%	15,000	5.6%	ROE(実績)	14.0 %
EPS(円)	38.4		81.1		84.5		配当利回り(予想)	1.2 %
配当金(円)	20.0		25.0		26.0		担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

半導体検査装置(テスト)で米テラダインと世界シェア双璧。メモリ向けテストのシェアは1位、非メモリ向けはテラダインに次いで2位。16年度のセグメント別売上構成比は、非メモリテストが47.5%、メモリテスト17.4%、メカトロニクス関連16.2%、サービス他18.9%。テスト部門が利益の大半を稼いでいる。

3Q累計決算は前年同期比29.5%増収、14.6%営業増益。3Qは前年同期比62.1%増収、232.3%営業増益。一部製品の量産化中止に伴い棚卸資産評価損33億円を計上したものの、売上、利益ともに通期計画を上方修正。3Qの受注高は前年同期比29.0%増の568億円へ拡大。4Qの受注も576億円と高水準を見込み、通期の受注計画を1,800億円から2,200億円へ上方修正。メモリ向けの受注は一服したが、ハイエンドスマートフォン(スマホ)向けや車載用半導体、有機EL用ドライバテストなど非メモリ・テストの受注が拡大。スマホ向けは中国で半導体の高性能化、微細化に伴いテストタイムが増加しており、想定以上に復調。エヌビディア向けGPU用のテスト需要が年明けから一段と活発化し、こちらも想定超の勢い。メモリテストも3D NANDの層数拡大に伴うテストタイム増加や信頼性保証ニーズの拡大を受け、テストへの積極投資が継続。NOR型フラッシュテストへの引き合いも強い。DRAMも後工程用高速テスト投資が堅調に推移しているうえ、生産能力改善に向けた旧型テストの置き換え需要も入っている。メモリテスト、非メモリテストともに、18年も需要拡大が続くものと思われ、来期も業績拡大が期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願ひ致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(2/8) 売買単位	コメント
アイスタイル (3660) 東証1部 1,350円 100株	<p>上期決算は前年同期比 64.4%増収、65.9%営業増益。化粧品口コミサイトの@cosmeが利用者数の拡大に伴い広告媒体としての価値が高まっていることに加えて、化粧品業界が好調に推移していることもあり、顧客ブランドからの広告出稿が拡大。@cosmeからの送客強化により、化粧品EC事業は前年同期比 42.5%増収。化粧品店舗販売も百貨店ブランドの取り扱い強化や新店増、既存店舗の成長により前年同期比 54.9%増収と好調。独身の日のセールなど中国ECの成長が寄与し、海外事業の売上も前年同期比3倍に拡大している。(松本 直志)</p>
コマツ (6301) 東証1部 4,153円 100株	<p>国内は前年の環境規制前特需の反動で落ち込むが、インフラ投資が旺盛な中国、北米を中心に海外向け建機が好調に推移。また、資源価格の回復を受けて中小型鉱山機械、部品・サービス事業の改善も寄与し、3Q累計決算は前年比 47.2%増収、75.8%営業増益で着地。通期については、為替や中国の春節後の商戦期の販売動向が不透明とのことで計画を据え置いたが、上ブレ着地の可能性が高いものと思われる。大型鉱山機械にも回復の兆しが高まっており、来期業績のけん引役となることが期待される。(多功 毅)</p>
DACHD (6534) 東証2部 2,320円 100株	<p>3Q累計決算は前年同期比 18.3%増収、40.2%営業増益。売上、利益ともに過去最高を更新。動画広告メニューの拡大や広告を作る環境整備の進展、大口のナショナルクライアントがTVに変わるブランディング広告として動画を活用していることが追い風となり、3Qの動画広告売上は前年同期比 2.1倍に拡大。ヤフーやYouTube、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなど向けが伸び、動画広告は大幅に成長している。(松本 直志)</p>
マキタ (6586) 東証1部 5,110円 100株	<p>3Q累計決算は、中近東・アフリカ地域を除く各地域でリチウムイオンバッテリーを搭載する電動工具の販売が好調に推移しており、加えて為替効果も寄与することで前年同期比 16.0%増収、24.8%営業増益で着地。3Qまでの業績が高進捗であったことや各地域での好調な需要環境を踏まえて通期業績計画を上方修正。修正後の計画についても売上高、利益ともに保守的と思われる、上ブレ着地が期待される。(多功 毅)</p>
村田製作所 (6981) 東証1部 15,305円 100株	<p>メトロサークの歩留り問題、3Qから連結化したソニーの電池事業が収益の圧迫要因となっているものの、需要環境は旺盛に推移。来期に向けては、メトロサークの生産性の改善、セラミックコンデンサーの能力増強効果、電池事業の赤字縮小が見込まれ、さらに北米大手スマホメーカー向けの通信モジュールのシェア回復に向けた取り組みも順調に推移している模様であり、業績改善が進む可能性が高いものと思われる。(多功 毅)</p>
東京エレクトロン (8035) 東証1部 19,020円 100株	<p>3Q累計決算は前年同期比 43.7%増収、92.7%営業増益。韓国向けメモリ投資が落ち着いたことで2Q比減収減益。18年の半導体前工程製造装置の設備投資は、旺盛なメモリ向け需要にけん引され、前年比 10%程度の成長となり20年に向けて右肩上がりでの拡大を見込んでいる。データセンタ向けSSDがけん引しNANDは前年比 5%の市場成長予想。DRAMはサーバやモバイル向けに需要が伸び、30%以上の成長見込み。18年度は市場成長と技術革新によるシェアアップで、市場成長の10%上回る業績拡大を目指す方針。(松本 直志)</p>

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%（ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円）の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室